

2017年度 同志社大学大学院 司法研究科

後期日程入学試験問題 法律科目試験

(刑 法)

次の（設例）を読んで、XとYの罪責について論じなさい（ただし、特別法違反の点を除く。）。(配点：100点)

(設例)

Xは、借金の返済に困ったため、通行人から金品を奪おうと計画し、夜間、包丁を携帯してX宅を出た。Xの妻であるYは、Xの行動を不審に思い、懐中電灯を携帯してXの後を追った。

Xが街灯のない薄暗い路上で通行人を待ち伏せしていたところ、Aが通りかかったので、Xは、Aを殺害してAから金品を奪おうと決意し、Aに近づき、Aの腹部に包丁を突き刺した。Aは、大量に出血してその場に倒れ、意識を失った。

XがAの所持品を探そうとしたところに、Xを追いかけてきたYがやってきた。Xは、Yに対し、「借金を返すために、こいつを殺して金目の物を奪おうと思って刺した。今から持ち物を探すから、お前も手伝え。」と言った。Yは、Xの言葉を聞いて驚いたが、Xの借金の返済に役立つなら都合が良いし、Aは意識を失っているから簡単に金品が奪えると思い、Xの指示に従うことにした。

Yは、人が近づいてこないかを確認するために周囲を見回しながら、携帯していた懐中電灯でXの手元を照らした。その間に、Xは、Aの所持品をさぐり、Aの上着のポケットに現金10万円入りの財布があるのを発見し、これをYに渡した。さらに、Xは、Aが指にはめていた指輪を外し、これを自分のズボンのポケットに入れた。XとYは、それぞれAの指輪と財布を持ってその場を立ち去り、X宅に戻った。

その後、Aは、通行人に発見され、病院に運ばれて治療を受けた。Aは、快方に向かっていたが、3日後、その病院において何者かの放火による火災が発生し、そのため、Aは焼死した。